

リライトの条件		
I	主人公にした人物の心情を書く。 ↓ 主人公は「 父父親 」にする。	I
II	主人公にした人物の視点から出来事を書く。	II
III	表現の仕方をまねる。	III

● リライトする部分とその理由

リライト作品チェック欄Ⅱ自己評価して記入しよう
◎とてもよくなった ○できた △あまりできなかった

リライトする部分 P 87 L 3 ～ P 88 L 1	父親が少年に見送られてバスに駆け込む部分	父親と少年のやりとりが二人のこみあげる思いを表現していると思ったから。二人の心の中を詳しく描写する表現はなかったが、かえてそれが実際にお互いを見つめ合っている登場人物の様子を現実のものに感じさせるので、心情を想像したくなったから。
		選んだ理由

● リライト作品と解説



リライト作品 「 父父親 」を主人公にして	バスが来た。こつちで過ごす時間はほんとにあつという間だなあ。よしおも三年生になってぐつとすっかりしてきたが、帰りは大丈夫か。「んだら、ちゃんと留守してれな。」無事でいてくれよ。大事な、大事なおらの息子なんだからな。泣くんじゃねえぞ。強くいてくれよ。婆ちやとあんねと助け合ってやってくれな。いろんなことを思っていたら力が入りすぎたか、よしおが痛みをこらえるような顔をした。バスに向かおうとしていたら、よしおがだしぬけに「えびフライ」と言った。つまるのどから押し出すような声だった。がまんさせてばかりだな……。すまん……。「わかっただらあに。また買ってくるすけ……。」すまん……。……こらえてける。男車掌が「はい、お早くう。」と言った。父親は息子から逃げるように、バスに駆け込んだ。	解説 ▽なぜこのような想像をしたのか。 ☆なぜこのような表現の仕方をしたのか
		☆語り手が父親と同化しているように書いたところ。↓冒頭部分や墓参りの場面で、語り手が少年と同化しているところに合わせた。父親の気持ち分かるように書きたかったから。 ☆父親の心内語では、名前で呼ぶ方が自然だと考え、少年の名を「よしお」とつけた。 ▽少年が「えびフライ」のことばかり話題にしたり、「えびフライ」と間違えて言ったりするのは、父親と別れるさみしさを紛らすためだと考えた。意識を「えびフライ」に集中させることで、悲しみを必死でこらえようとしたのだと思う。だが、体は感情のたかぶりをこらえきらず、のどが詰まったに違いない。父親にはそれが伝わったと想像した。 ▽父親も感情のたかぶりが少年の頭を揺さぶる手荒さやハンチングを押さえる手や、バスに駆け込む姿に表れている。